

地球惑星科学委員会地球惑星科学企画分科会（第24期・第7回）議事録

日 時：2018年12月27日（木）13:00-14:00
会 場：東京大学地震研究所1号館2階セミナー室
（※ 〒113-0032 東京都文区弥生 1-1-1）

参加者(敬称略)： 大谷、川幡、木村、高橋、田近、藤井、中村（卓）

欠席者(敬称略)： 中村（尚）、西山、春山

事務局： 陪席無し

1. 第2回地球惑星科学分野大型研究計画ヒアリングのエントリー状況の確認

前日（12月13日）の締め切りまでに合計13件のエントリーがあった。内訳は、第1回ヒアリングにエントリーされたもの9件、新規4件であった。これらについては、すべて受理することとした。一方で、第1回ヒアリングにエントリーされたもので、今回エントリーされていないものが5件あり、取り下げや融合領域への申請の可能性を考えても、2件程度がまだエントリーしていない可能性がある。エントリー締め切り日の変更による混乱やAGU参加中等の理由でエントリーが遅れている可能性も考えられるので、これからリマインドを出してエントリーがあれば受理することを確認した。

2. 第2回地球惑星科学分野大型研究計画ヒアリングのプログラム案作成

前回同様、1件あたり25分間（発表10分間＋質疑応答15分間）とすることを確認した。13件ないし15件の計画について、エントリー順に暫定的なプログラム案を作成し、発表時刻などに支障がないか提案者に個別確認することとした。

3. 「大型研究計画及び重点大型研究計画の審査における評価の観点2020」の確認

日本学術会議科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会から12月6日付けで公表された「第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」における「大型研究計画及び重点大型研究計画の審査における評価の観点」の内容について確認した。

4. 第2回地球惑星科学分野大型研究計画ヒアリングの評価項目の検討

日本学術会議から公表された「大型研究計画及び重点大型研究計画の審査における評価の観点」を念頭に、第1回地球惑星科学分野大型研究計画ヒアリングの評価項目で支障がないか検討を行った。評価項目は計画提案者にも開示することを前提に、提案者には日本学術会議の新しい評価の観点をよく考慮していただけるよう、評価項目の細かい記述は削除して示す方がよいのではないか、ということになった。また、提案者に示す評価の観点については、前回同様「7つの観点に加えて」として、とくに必要な観点があれば追記することとした。

以上